

「子供たちと共に学ぶ」授業づくりを目指して（5月26日）

今週から「校内授業研」が始まりました。先生方がお互いの授業を参観し合うことを通して、よりよい授業づくりを目指しています。

教師が「これをしなさい」と学習内容や活動を下げ渡す授業だけでは、子供たちの「やりたい」「できそうだ」「やってみよう」という思いは生まれず、互いに「影響力」を発揮し合う姿は見られません。

「学びたい」という思いを高めた子供たちに、学びを「ゆだねる」時間があってこそ、生き生きと自分を表現し、他者の考えに耳を傾ける子供たちの姿が見えてきます。

「ゆだねる」といっても、当然「何をしてもよい」とは異なります。私たちが環境を整え、教材や学びとの出会いを工夫し、子供たちが「学びたい」という気持ちを奮い立たせる関わりを模索することで、教師が「学んでほしいこと」と、子供たちが「学びたいこと」が一つになるよう取り組んでいます。

その時、教師は単に子供の学びを引っばる存在ではなく、子供の伴走者となり、よきファシリテーターとなるはずで。一年間の土台づくりのこの時期、「子供たちと共に学ぶ」授業づくりを進めていきます。

<校内授業研～子供たちの様子>

①英語の授業



②図工の授業



③音楽の様子



◆体カテスト

自分の身体に関心を持ち、運動に親しみながらたくましく成長していくためのスタートです！



◆青空のもとで～音楽の授業の様子です



◆5月26日(木)2年1組が阿寒湖畔自然体験活動に出かけました!詳しい様子は、またの機会にお知らせします。



★2年生「白樺花いっぱい運動」(種まき編)の様子が紹介されました

白樺を花いっぱい
鉚路

地域住民 キンレンカの種植え

道教大附属鉚路義務教育
学校前期課程(内山隆校長)
の2年生58人は24日、生活
科授業の一環で市内白樺台
1のバス通り沿道にある花
壇に、鉚路市の花「キンレ
ンカ」の種を植えた。地域
を花でいっぱいにして活性
化を図る「白樺花いっぱい
運動の会」に協力した活動。
児童たちは咲き誇るキンレ
ンカの姿を思い浮かべ、一
生懸命作業を行った。
児童たちは今日1日に花

道教大附属鉚路義務教育
学校前期課程(内山隆校長)
の2年生58人は24日、生活
科授業の一環で市内白樺台
1のバス通り沿道にある花
壇に、鉚路市の花「キンレ
ンカ」の種を植えた。地域
を花でいっぱいにして活性
化を図る「白樺花いっぱい
運動の会」に協力した活動。
児童たちは咲き誇るキンレ
ンカの姿を思い浮かべ、一
生懸命作業を行った。
児童たちは今日1日に花

壇の土起こしを行っており、
今回は今年度2回目。5、
6人で1グループを構成、
長、白樺陸第一町内会の品

18カ所の花壇それぞれで白
樺連合町内会の高橋努会

田田会長、地域住民、鉚路
フラワーマスター花くらぶ
のメンバーら合わせて10人
と共に交流しながら、市公
團緑化協会の職員が事前に
印を付けた場所に手で穴を
掘り、種を植えた。今後は
除草などを予定。花は7月
下旬に見頃を迎える。

「花が
咲いて、地域に住んでいる
人や道路を利用する人が笑
顔になってほしいと種を植
えました。楽しかった」と

別保でクマ目撃
【鉚路町】24日午後3時
35分ごろ、町別保173付
近で、クマのような動物1
頭を見たという通報があ
った。同署によると、目
撃場所は同住所の森田湖つ
りほり園のすぐ近くで、釣
りをしていた女性が発見、
その後見失ったという。人
畜の被害はない。同署で警
戒を強めている。

庶路の国道でも
【白糖】24日午後1時ご
ろ、町上庶路基線北付近の

地域住民(右)と交流しながらキンレンカの種を植える児童たち